

⑦ はったつしょうじしゃ 発達障がい児・者

自分の備え

日ごろの備え

- 服用している薬の処方箋やお薬手帳、薬局からの投薬説明文をコピーして、常に身につけておきましょう。
- ヘルプサインの出し方を、家族と一緒に練習しておきましょう。
- 「聴覚過敏があります。静かな場所に行かせてください。」というように、苦手さと対応方法について分かりやすいカードを作っておき、非常持出袋に入れておきましょう。
- 緊急連絡用カード(*)を記入して常に身につけておきましょう。

※この本にはさみこまれています。

安全な避難

- 見た目には障がいを理解されにくいことが多く、わがままと叱られたりすることもあるかもしれません。「発達に課題があるので」とか「感覚の過敏さで困難があります」と伝え理解者となってもらいましょう。
- 日ごろから、緊急時に備えた行動をとれるように支援する人と話し合っておきましょう。

避難を支援する人

避難行動

- 孤立しないように家族や周囲の人と一緒に避難するように伝えましょう。

避難所での対応

- 分かりやすい言葉で具体的に繰り返し説明しましょう。話しかけて伝わりにくい場合は、ゆっくり話したり、身振り手振りや絵を描く、実物を見せるなど具体的に示しましょう。
- 日常との違いに混乱し、情緒不安定になることが考えられます。できるだけ刺激の少ない環境を作るように努めましょう。